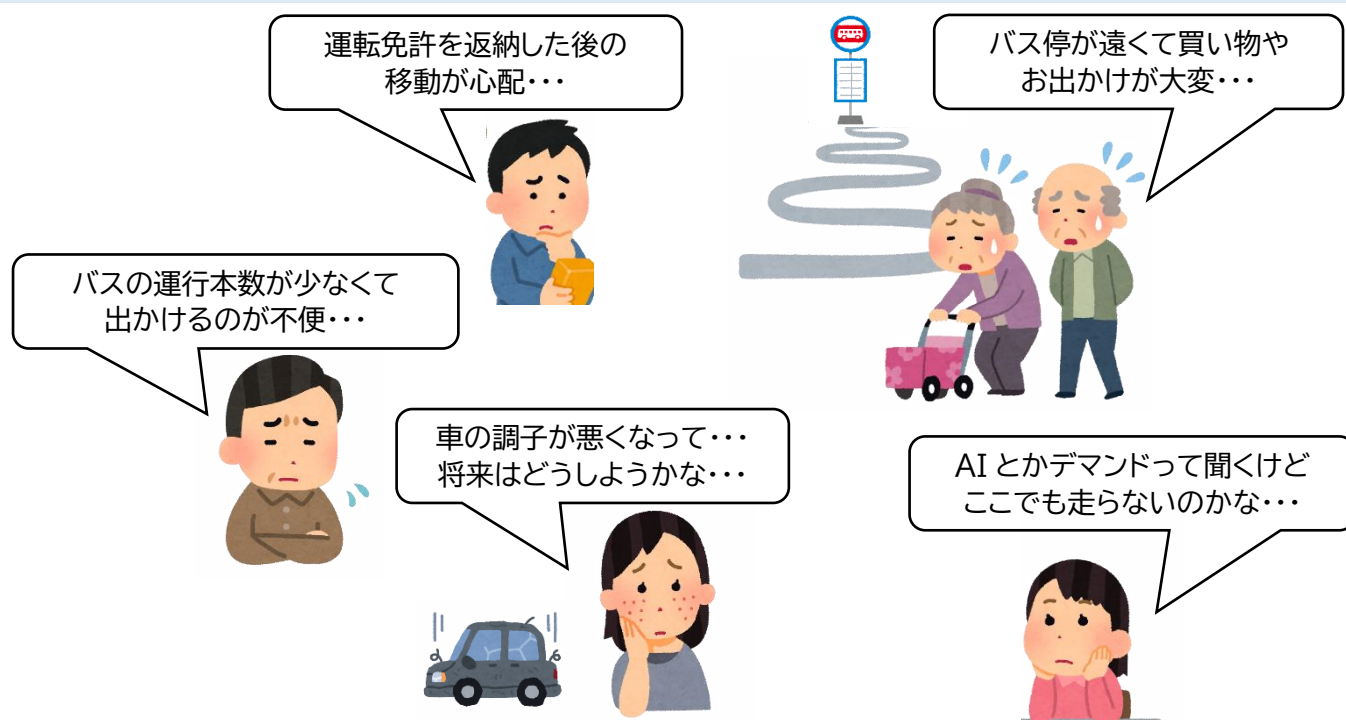


三田市地域内交通導入検討指針〔概要版〕

～誰もが気軽に移動できるまちを目指して～



買物や通院など日常生活の中で移動にお困りのことや将来の不安はありませんか？

交通の課題や困りごとは、お住いの地域や生活スタイルなどによって様々なケースが考えられます。

お住いの地域にある交通に関するお困りごとの解決に向けて、地域の皆さんが利用しやすい交通手段の拡充を図るためには、地域のことを知り、課題を共有し、移動に関する困りごとをどうやって解消するか、地域のことをよく知る皆さんが主体となって検討することで、地域の移動ニーズに合った持続可能な交通手段となることが期待されます。

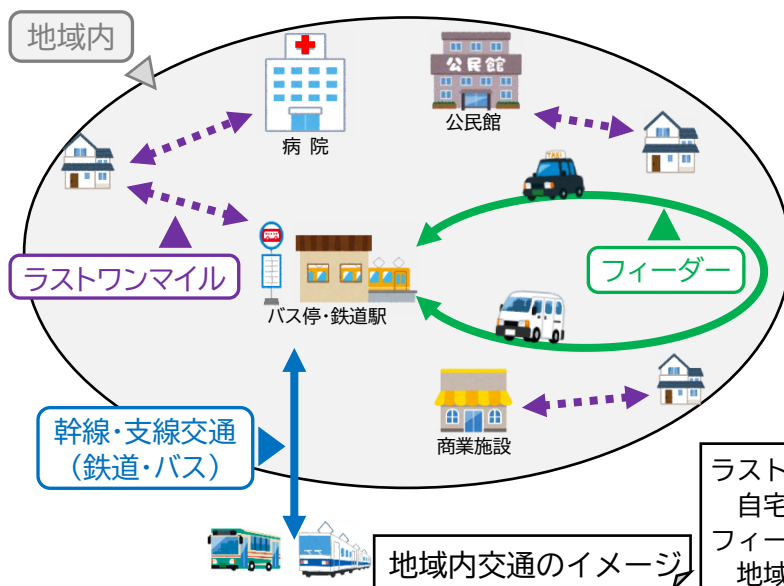
地域での暮らしを守り、地域の移動手段として公共交通を確保・維持するためには、地域・市・交通事業者が役割分担し、連携・協働して取り組む必要があります。

本指針は、市民や関係者の皆さんが地域の移動ニーズに対応した地域の公共交通について、検討・導入・運営を行う際の“ガイドライン”として活用いただくことを目的として作成しました。

地域に合った交通の実現には、手間も時間もかかりますが、
市と交通事業者は、地域の皆さんが主体的に取り組めるよう支援します。
ぜひ、地域の皆さんで交通について話し合ってみてください。



1 地域内交通の導入



地域内交通とは、バス停留所までの移動が困難な地域などにおいて、既存の公共交通を補完し地域内の移動を支える交通手段を言います。

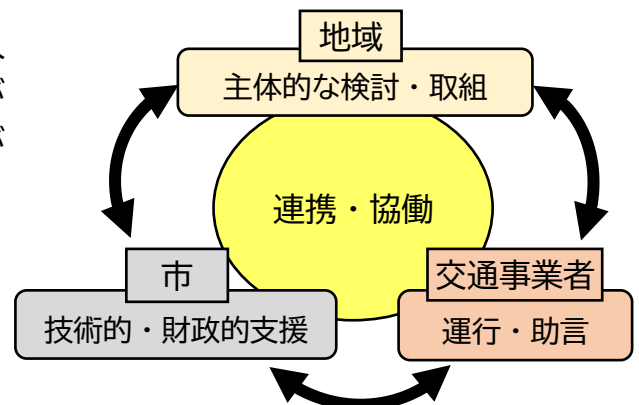
地域内交通の導入検討にあたっては、地域の特性や移動ニーズを踏まえ、法制度や国の指針に基づき、地域の事情に合った移動手段ときめ細やかな運行内容を検討します。

ラストワンマイルとは
自宅から地域内の交通拠点等への移動のこと
フィーダーとは
地域内から幹線のバス停鉄道駅等に接続する移動のこと

2 役割と連携

持続可能な交通手段を確保・維持するため、導入を図る際には「地域」「市」「交通事業者」の3者が相互に役割分担を理解し、連携して取り組むことが必要になります。

みんなで
『つくり』『まもり』『育てる』
地域内交通



3 進め方と検討プロセス

地域内交通を導入するまでの検討プロセス（基本的な流れ）を4つのステップに仕分け、地域・市・交通事業者の三者がそれぞれに取り組む役割分担を明確にします。

STEP 1 地域の交通を知り、地域に望ましい交通を考えよう



検討組織の立ち上げ

地域の皆さんが一緒になって取り組みを進める組織を作ろう

地域の交通を知る

地域にある多様な移動手段を把握しよう

ニーズの把握

地域に暮らす皆さんの移動ニーズを把握しよう

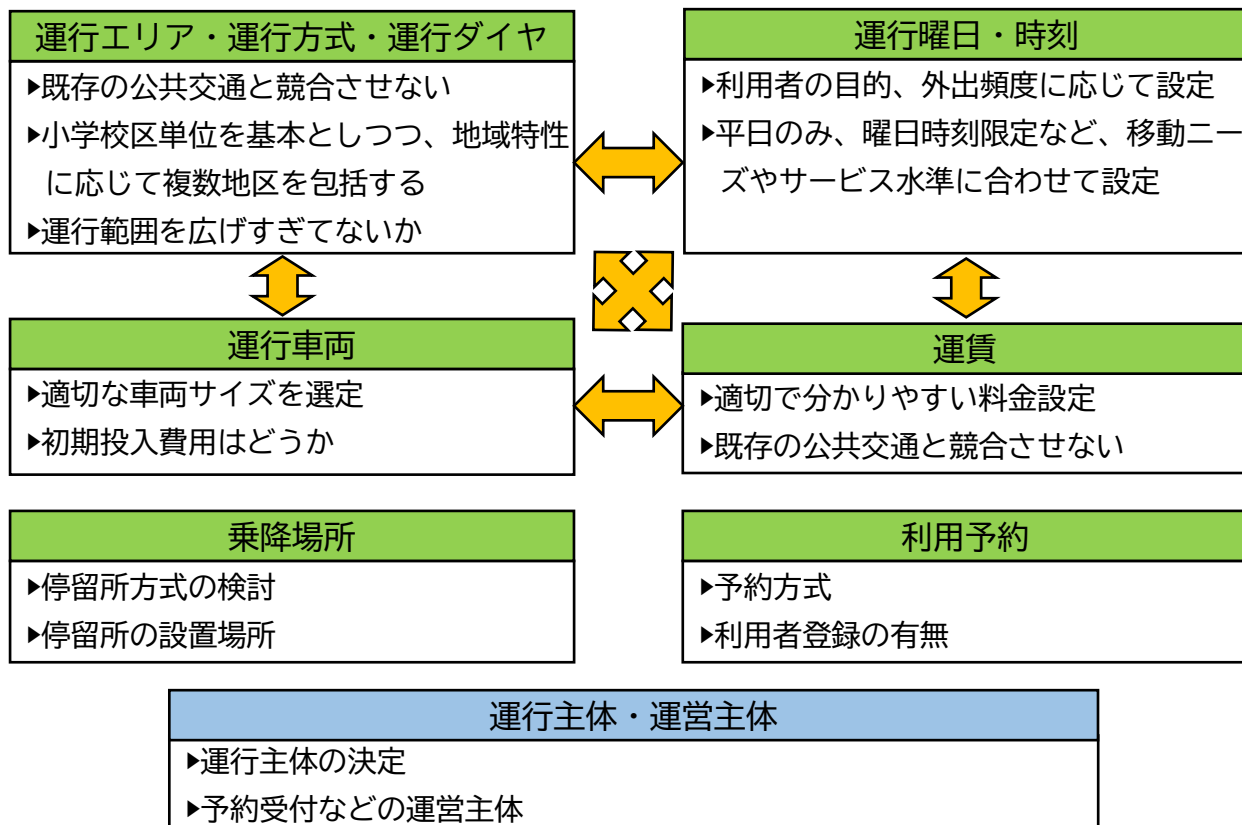


STEP 2

地域に合った移動手段を考えよう



地域の状況や利用者の特性などの移動ニーズをもとに、移動手段の選択と運行内容について考えます。車両やルート、ダイヤ、乗降場所、運賃だけでなく、運行体制についても検討します。これら一つ一つは関連しますので、全体を意識することが大切です。

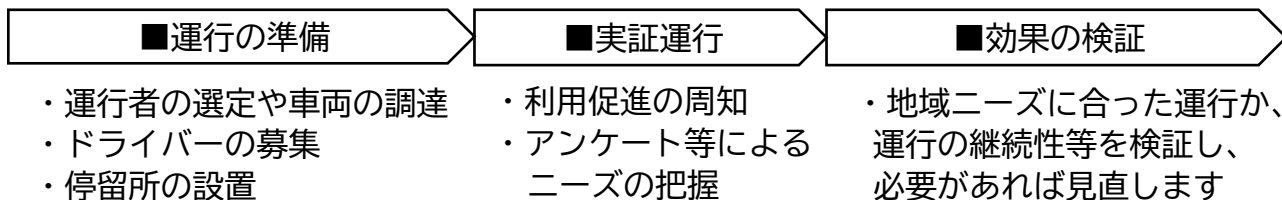


STEP 3

実証運行で効果・課題を検証しよう



皆さんで考えた運行計画で実際に運行し、地域の移動ニーズに合った内容が確認します。

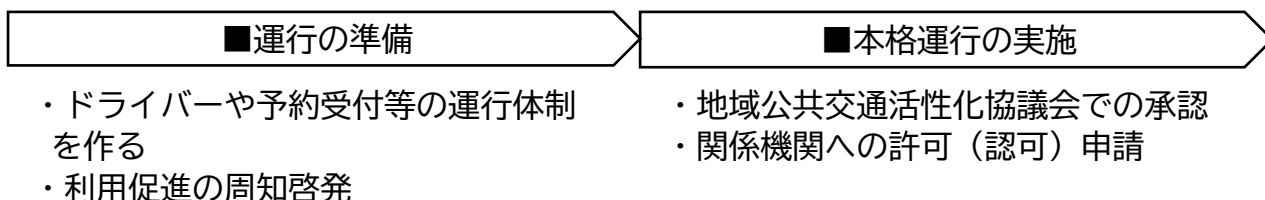


STEP 4

本格運行への移行と改善を図ろう



実証運行の検証が終われば、本格運行に向けて進めます。



4 事業性の検証

地域内交通の運行には、まずは「利用していただくこと」が大切です。

持続可能な運行には、将来も「利用する」地域のニーズに合った運行内容なのか、定期的に確認するための判断基準として「評価指標」と「基準値」を設定します。

事業採算に見合った内容であるか、公共性の高いサービス提供なのか検証を行います。

【運行の継続性を判断する評価指標と基準値】

評価指標	基準値
公共性の高い移動サービスが提供されているか	運行形態により設定 (乗合率の場合 1.5 人/乗車)
事業採算に見合った移動サービスが提供されているか	運賃収入が運行経費の 10% (収支率)



持続可能な事業として、「公共性」と「経済性」の両方の視点から運行サービスの内容を確かめる必要があります

- 「公共性」の視点

不特定多数の利用者がサービスを利用できている
事業になっているのか



乗合率の場合
目安例 1.5 人

- 「経済性」の視点

支出と収入のバランスが取れて、事業が成り立っているのか



運賃等の収入が運行経費の“10%”

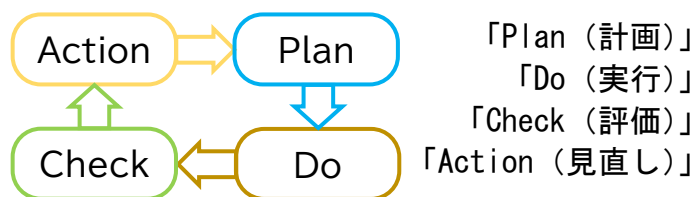


5 評価・見直し

運行の継続性を判断する基準により、定期的に評価し必要があれば運行内容を見直し、利便性・持続可能性を高めるよう創意工夫しながら取り組みを続けていきましょう。

- ・運行に対する満足度
- ・目的地や利用目的
- ・利用しやすい運行ダイヤや乗降場所
- ・今後の利用意向

などについて、
アンケート等で調べましょう



4つのステップを順に実行し繰り返すことで、地域の実情に合った持続可能な交通サービスの提供を目指します。